



決勝レポート

2010/9/26 Rd-5 スポーツランド SUGO

天候：晴れ 気温：21℃ 出走台数：15台

観客数：25日(土)5,500人 26日(日)12,700人

台風一過、清々しい秋空の下、2010年シーズン唯一の開催となるスポーツランド SUGO は緊迫のスタートを迎えた。

ポールスタートのデュバル選手は、スタートの動きだしは抜群だったものの、タイヤ内圧が十分に上がっていなかったためかスピードの伸びが悪く、1つポジションを落としてしまう。伊沢選手は会心のスタートに加え、2コーナーでの多重クラッシュの混乱を冷静に処理して一気に6番手まで浮上した。このクラッシュによりすぐにセーフティカーが導入される。セーフティカー解除となり再スタートが切られたのは4周目、ここで虎視眈々と隙を狙っていたデュバル選手は小暮選手を1コーナーでかわし狙い通りトップへ。その後レースを完全に主導し、2位との間隔をぐいぐいと広げてゆく。一方の伊沢選手も25周目には4位まで順位を挽回。31周目にデュバル選手が、35周目には伊沢選手がピットイン。完璧なピット作業を終えてコースへ復帰した。この時点でデュバル選手3番手、伊沢選手7番手。前を行く2台はまだピットインを行っていないため、デュバル選手の首位復帰は時間の問題と思われたが、なんと前を行く2台はノーストップ戦略を採用、デュバル選手は凄まじいペースで追い上げるが、残り周回数は僅か。このまま3位で終えることになると思われた最終周に、そのうちの1台がガス欠でストップ。結果デュバル選手2位、伊沢選手6位でレースを終え、共にポイントを獲得。デュバル選手はトップから3ポイント差のチャンピオンシップ2位に浮上し、残り2戦での巻返しに期待がかかる。

1: ロイックデュバル 選手 2位

スタートは余り良くなかった。でもセーフティカー後の再スタートは狙い通りでトップ浮上できたし、その後も後方のマシンに対して、十分なギャップを築くことができた。ただ、ノーピット戦略は、燃費を考えると我々には選択の余地はなかったね。この点はエンジンメーカーとも検証を重ねたい。とにかく最後まで死に物狂いでプッシュした。残念ながら優勝は逃がしたけど、シリーズタイトルでは躍進出来たし、残り2つのレースが楽しみです。

2: 伊沢拓也 選手 6位

決勝のペースやレース内容は良かったと思います。予選も調子良かったのに、結果としてまとめ切れなかった事で、決勝での速さを生かせませんでした。ここまで夏場は今一つ調子に乗れなかったのですが、今回良くなってきたところはプラス材料です。去年のオートポリスは勝てるレースを落としているので、必ずリベンジし、チームポイントを伸ばしたいです。